

No.	021	—	1001	事務事業名	庁舎（施設・設備）の管理に関する事務	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	消防署	係名	庶務係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(2)総合的な防災体制の確立				
	事業の対象	消防庁舎及び防災センター				根拠法令	建築基準法、消防法、浄化槽法など						
	事業の目的	最終的	消防活動の拠点として、また大災害時には基幹的広域活動拠点、または一時避難できる公共施設として機能すべく消防庁舎・防災センターの維持管理を行います。			今年度	根拠法令、指針等に基づき庁舎・及び設備の維持管理を適正に行っていきます。						
	活動内容	①	通信指令設備・電話設備の保守点検及び有事の際の非常用自家発電設備の保守点検			④	空調機器の適正温度使用促進、保守点検						
		②	車庫シャッター、自動ドア、エレベーターの保守点検			⑤	職員による日々の庁舎内外の清掃、年1回の業者清掃						
		③	浄化槽法に基づいた浄化槽の保守点検、清掃										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
				事務（事業）の性質上、指標設定になじまない		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	4,546 千円	4,751 千円	4,730 千円								
	計(A)	4,546 千円	4,751 千円	4,730 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	2.005 人	12,108 千円	2.005 人	12,128 千円	1.850 人	11,274 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		16,654 千円	16,879 千円	16,004 千円									
一次評価者	庶務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	消防庁舎は建設から6年が経過し庁舎自体はもとより、設備関係の維持は継続していく必要があると考えます。												
有効性	職員による清掃などは行っていますが、維持管理上有効とは言えず、専門業者による定期的かつ総合的な点検等が必要であると考えます。												
達成度	庁舎建設以降、業者による点検を継続して実施しているため、故障の恐れのあるもの、定期的に交換すべきものなどを把握することができています。												
効率性	職員による点検は行えないため、業者による点検が妥当であると考えます。また根拠法令等により必要性が証明されているため、コスト削減や見直しは困難であると考えます。												
当面の課題	庁舎建設から6年経過し、故障・不具合などが多くみられるようになってきました。												
改計画	突然の故障はやむをえないにしても、部品の交換等はできるだけ計画を立てて予算化していくことが求められると思います。												
二次評価者	消防署長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	経年劣化による故障等が今以上に多くなると思います。法定点検は確実に実施し、任意点検であっても、業者による点検・交換が必要であると思われるものについては計画性を持ち対応してください。また、緊急時に対応できるよう維持管理に努めてください。												

No.	021	—	1008	事務事業名	車両の管理に関する事務	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	消防署	係名	庶務係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(4) 消防・救急体制の充実				
	事業の対象	消防車両・救急車・広報車、はしご車のはしご、救助工作車搭載のクレーン、消防ポンプなど				根拠法令	道路運送車両法、労働安全衛生法など						
	事業の目的	最終的	消防活動の核である消防車両等が現場活動に支障のないよう、日常・定期点検、法的点検を実施します。			今年度	根拠法令、安全基準等に基づき消防車両・救急車及びはしご、クレーン等の維持管理を適正に行っていきます。						
	活動内容	①	自動車メーカー等が推奨する車の日常点検			④	職員による消防ポンプの日常点検、機能点検及び業者による保守点検						
		②	車検、法定点検に関する事務			⑤							
		③	職員及び業者によるはしご車のはしご点検、救助工作車のクレーン点検を定期的実施										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
				事務（事業）の性質上、指標設定になじまない		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防			費				
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	4,090 千円	4,631 千円	4,998 千円								
		計(A)	4,090 千円	4,631 千円	4,998 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	2.067 人	12,483 千円	2.067 人	12,503 千円	2.067 人	12,596 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		16,573 千円		17,134 千円		17,594 千円							
一次評価者	庶務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	法的に義務付けされている車検はもとより、日常点検等を実施知ることによって、不具合を察知することができます。												
有効性	現場活動に車両は欠かせないものであり、事故を未然に防ぐためにも点検等は必要と考えます。												
達成度	職員による点検に加え、業者による点検も実施しているため、適正に維持管理されています。												
効率性	消防車両や救急車、はしご、クレーンなど特殊性が高いため、専門業者による点検が必要であり、コスト削減や見直しの対象とするには困難であると考えます。												
当面の課題	ある程度の車両においては、年次計画により乗り換えが進んでいるが、救急件数の増加による救急車の消耗度が増加していると感じます。												
改革計画	近年の出勤状況や人口動態、建物等の基準に沿った車両・機器更新の計画を担当課を交え検討し、必要であれば計画を変更していくことが必要と考えます。												
二次評価者	消防署長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	緊急車両の維持管理を確実にすることは、消防活動を行うための最低条件です。小さなことであっても注意を払い、活動に支障が出ないよう、維持管理に努めてください。 また、車両の更新については、関係課と協議し、更新計画の策定をお願いします。												

No.	021	—	1013	事務事業名	無線設備の管理に関する事務	細事務事業名		公的関与	2				
PLAN	課名	消防署	係名	庶務係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(2)総合的な防災体制の確立				
	事業の対象	消防署が保有する全てのアナログ無線機・無線設備				根拠法令	電波法						
	事業の目的	最終的	アナログ無線機・設備が異常なく、常時使用できる状態を保ちます。			今年度	年3回の契約業者による保守点検を実施して、常時アナログ無線機・設備が使用できるよう維持管理します。						
	活動内容	①	毎日1回の消防無線交信試験と月2回の県内共通波無線交信試験			④							
		②	定期的なバッテリーの交換			⑤							
		③	アナログ無線機・設備の保守点検										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
				事務（事業）の性質上、指標設定になじまない		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	501 千円	520 千円	501 千円								
	計(A)	501 千円	520 千円	501 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.022 人	133 千円	0.022 人	133 千円	0.020 人	122 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		634 千円	653 千円	623 千円									
一次評価者	庶務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	消防の現場活動上、無線機を活用するのは携帯性、簡便性などを考慮すると意思疎通・状況報告等をする有効な手段であり、維持管理の必要性は高いと考えます。												
有効性	職員による無線交信試験やバッテリー交換のみでは維持管理上有効とは言えず、上記に加え専門業者による定期的な点検が必要であると考えます。												
達成度	アナログ無線機に関しては一部故障や古いもの（修理・新規バッテリーの購入ができないもの）がありますが、適性に維持管理できているものと思います。												
効率性	アナログ無線からデジタル無線への移行期間中であり、完全以降まではこれまで同様円滑な無線機活用をする必要があるため、定期的な保守点検が必要であると考えます。												
当面の課題	アナログ携帯無線機に関しては、一部の機種が修理不能であったり、バッテリーを含む部品の製造中止などがあり、故障のまま保有しているものが見受けられる。災害によっては無線機不足が懸念される可能性があります。												
改革計画	平成28年度の無線デジタル化移行までは現状を維持するため、特に落下・落水等による故障を減らすよう職員に呼びかけることと万が一故障した場合は可能な限り修繕を試みることで対応します。												
二次評価者	消防署長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	デジタルに完全移行するまでの間、携帯無線機の使用方法については注意を払うよう指導してください。なお、不足については、現在整備されている署活動型携帯無線機が使用可能ですので現場活動に生かしてください。												